

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和46年以前		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	03 障害者(児)福祉
事務事業名	01	戦没者追悼事業	
根拠法令・例規等	備前市戦没者遺族連合等補助金交付要綱		
問	担当課(室)	社会福祉課	
合	職・氏名	障害者福祉係長・大道健一	
先	電話	64-1824	
このシート作成に要した時間			2.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内の戦没者遺族及び原爆被爆者
目的(何のために)	戦没者及び遺族に対し、慰霊の意を表すため戦没者追悼式を実施する。戦没者遺族連合会、原爆被爆者会に対して会の運営助成を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	戦没者の慰霊と、追悼式への出席者を増やすとともに、出席された方々に満足してもらえる式典にした。また、戦没者遺族連合会及び原爆被爆者会の運営が活発になるようにしたい。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	戦没者追悼式事業	戦没者追悼式実行委員会に委託を行い、戦没者及び遺族に対し慰霊の意を表すための戦没者追悼式を実施する。	
	戦没者遺族連合会補助事業	戦没者遺族連合会に対して会の運営助成を行う。	
	原爆被爆者会補助事業	原爆被爆者会に対して会の運営助成を行う。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		1,831	1,372	1,288	
	必要人員(人件費)	千円	0.15人	1,455	0.07人	695
	事業費		3,286	2,067	2,759	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源			3,286	2,067	2,759	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
追悼式出席者	説明		戦没者追悼式に出席した人数			
結果指標量	事業		280	300	300	
対前年比	%		-	107.1%	100.0%	
活動コスト			2,553,000	2,067,000	2,759,000	
単位当たりコスト	円		9,118	6,890	9,197	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
追悼式出席者	目標値(A)	350	350	350	400
	実績値(B)	280	300	300	到達目標値
	達成率(B/A)	80.00%	85.71%	85.71%	400
成果指標設定の考え方・式や説明					
追悼式への出席者を増やす。					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度		

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら効率性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	23年度以降において委託料をこれ以上減額することは困難である。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
戦後65年余を経過し、遺族の高齢化が進み出席者の増加も余り見込めない。今後においては、市内での追悼式開催はもちろんであるが、遺族会の意向を聞き代替えとして、県遺族連盟主催の追悼式への参加補助の検討も必要があると考えます。	評価区分 <A~E>	C

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	可能な限り経費の削減を図り、委託料に残ができれば市へ返還する。					